



「瑞浪超深地層研究所に係る環境保全協定」 に関する基準書の改定について

平成17年11月14日に締結された「瑞浪超深地層研究所に係る環境保全協定」第2条に基づき作成している「環境保全に関する基準書」に、掘削土の取り扱いの項目を追加しました。追加項目の概要は下記のとおりです。

5つの測定項目（ふっ素、ほう素、砒素、鉛、総水銀）について、これまで実施してきている環境保全協定に基づく毎月の自主測定に加えて、掘削区間（2.6m）程度毎の溶出量の測定を実施する。

なお、測定結果が参考値を超えている場合は、対象となる掘削土を専門の処理施設へ搬出し、適正に処理する。

HPアドレス：<http://www.jaea.go.jp/O4/tono/press/080602/080602.html>

来月の主な作業予定（7月）

【瑞浪超深地層研究所】

- ①主立坑及び換気立坑の掘削作業（6月20日現在 主立坑：深度273.9㍍、換気立坑：深度224.7㍍）
- ②深度100㍍、200㍍の予備ステージでの水平ボーリング孔を用いた地下水の観測
- ③既存ボーリング孔（MSB-1,2,3,4号孔、MIZ-1号孔、05ME06号孔）での水圧等の長期観測
- ④排水処理設備におけるふっ素、ほう素の除去後の排水継続
- ⑤狭間川における流量観測及び用地周辺井戸での水位観測
- ⑥研究坑道の排水等に伴う環境管理測定
- ⑦表層水理観測（気象観測、地表の傾斜量の観測等）
- ⑧名古屋大学との共同研究（ひずみ計測等）
- ⑨東濃地震科学研究所との研究協力に伴う岩盤の傾斜の長期観測等

【正馬様用地】

- ①既存のボーリング孔での水圧等の長期観測

掘削土の溶出試験の結果について

瑞浪超深地層研究所研究の坑道掘削工事においては、岐阜県、瑞浪市と締結している環境保全協定に基づき環境測定を行い、その結果を公表してきております。

5月27日、28日及び6月4日、16日に試料を採取した掘削土の溶出試験の結果、自然由来による砒素の溶出量が、協定に定める参考値（0.01mg/l以下）を超えて（それぞれ0.018mg/l、0.012mg/l、0.013mg/l、0.011mg/l）ありました。砒素の溶出量が参考値を超えた掘削土については、その全量を専門処理施設に搬出します。

なお、周辺環境への影響はありませんでした。

今後とも環境保全協定を遵守し、適切に管理して参ります。

砒素の溶出量が参考値を超えた掘削土の処理方法

砒素の溶出量が参考値を超えた掘削土は専門処理施設（愛知県内の処理施設）へ搬出します。この処理施設では、掘削土はセメント材料として再利用できるように処理されます。



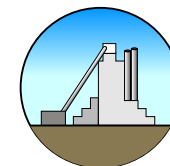
瑞浪超深地層研究所の
堆積場から搬出



愛知県内の専門処理施設へ



専門処理施設内に
掘削土を保管



セメント工場でセメント
材料として再利用



運搬



地層研ニュースに関するご意見・ご要望や瑞浪超深地層研究所の見学のご希望などについては、下記の連絡先までお願いいたします。

【電話】0572-66-2244(代表) 【FAX】0572-66-2124 【E-Mail】tono-ck@jaea.go.jp

《東濃地科学センターホームページ：<http://www.jaea.go.jp/O4/tono/index.htm>》

東濃地科学センター 地域交流課（栢，川瀬，牧田，福島）

瑞浪国際地科学交流館 ミニギャラリー展示案内

瑞浪国際地科学交流館の1階のミニギャラリーでは、「カワセミを中心とした野鳥写真展」の作品を展示いたします。是非、交流館へ足をお運びください。

また、展示作品の募集も随時行っております。展示は無料ですので、お気軽にお問合せください。

【期間】7月1日(日)～7月31日(月) 10:00～20:00

【場所】瑞浪市明世町戸狩字大狭間36-8(入館無料)

【休館日】年末年始(月曜日は営業日となりました)

《展示に関するお問合せ先》

地層研ニュース表面の連絡先へお問合せください。

パソコン教習コーナーのご案内

瑞浪超深地層研究所では、パソコン教習コーナーを下記のとおり開催しております。参加希望の方は、日時、人数、お名前を、地域交流課まで、お知らせください。なお都合により、日時の変更をお願いすることがあります。

【期間】土、日、祭日を除く平日(9:00～17:00)

【場所】瑞浪超深地層研究所 管理棟 展示スペース

【内容】パソコンの基本操作(1～2時間程度)

【申込先】地層研ニュースの表面の連絡先へ、電話またはFAX、メールでお問合せください。

※お知らせいただいた氏名等の個人情報はパソコン教習コーナーの目的以外は使用いたしません。

瑞浪超深地層研究所を見ませんか？

瑞浪超深地層研究所では、地下を体験できる施設見学会を下記のとおり開催します。なお、当施設見学会は毎月開催する予定です(希望される方は事前申し込みが必要となります)。

7月分の施設見学会は、定員となりましたので受付を終了しました。

【開催日時】平成20年7月27日(日)(13:00～15:00)

【内容】地下約200mの世界を体験していただきます。

【対象】小学校4年生以上

(工事現場での安全の確保のため、お子様の場合は小学校4年生以上の方に限らせていただき、保護者同行をお願いしております。また、歩行困難な方等はお控えいただきますようご協力をお願いいたします。)

※氏名等の個人情報は、当機構主催の見学会や講演会等のご案内に使用させていただく場合があります。

「瑞浪超深地層研究所に係る環境保全協定書」 第2条に基づく排水等の測定結果(平成20年5月分)

【採取日：平成20年5月27日】

単位：mg/l(水素イオン濃度はpH)

測定項目	管理目標値	工事排水	狭間川下流	※1	※2	※3	※3
				立坑の湧水	狭間川上流	掘削土の溶出量(主立坑)	掘削土の溶出量(換気立坑)
水素イオン濃度	6.5～8.5	7.0	7.4	9.1	8.0		
浮遊物質量	25以下	1未満	17		10		
カドミウム	0.01以下	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
全シアン	検出されないこと	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
有機燐化合物	検出されないこと	検出されず					
有機燐	検出されないこと					検出されず	検出されず
鉛	0.01以下	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
六価クロム	0.05以下	0.04未満	0.04未満	0.04未満	0.04未満	0.04未満	0.04未満
砒素	0.01以下	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.006	0.005未満
総水銀	0.0005以下	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
アルキル水銀	検出されないこと	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
PCB	検出されないこと	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
トリカドミウム	0.03以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
テトラカドミウム	0.01以下	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
四塩化炭素	0.002以下	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満
ジクロロメタン	0.02以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
1,2-ジクロロエタン	0.004以下	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満
1,1,1-トリクロロエタン	1以下	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
1,1,2-トリクロロエタン	0.006以下	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満
1,1-ジクロロエタン	0.02以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
1,2-ジクロロエタン	0.04以下	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満
1,3-ジクロロプロパン	0.002以下	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満
チウラム	0.006以下	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満
シマジン	0.003以下	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満
チオベンカルブ	0.02以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
ベンゼン	0.01以下	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
セレン	0.01以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10以下	0.6	0.4	0.11	0.4		
ふっ素	0.8以下	0.4	0.1	9.5	0.1	0.7	0.2
ほう素	1以下	0.42	0.13未満	1.2	0.02未満		
塩化物イオン	—			170			
アモニア、アモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	—	0.67					

※1 立坑の湧水の値は排水処理によりふっ素・ほう素を除去する前の湧水の値です。排水処理後、狭間川へ排水します。
 ※2 狭間川上流は排水が流れない場所での採水のため、値は狭間川の河川の値となります。
 ※3 掘削土は水の中に溶け出した物質の量のことで、値は狭間川の河川の値となります。
 ※4 参考値
 ※5 空間放射線線量とは空間における放射線の量を1時間あたりで表した値。
 ※6 3ヶ月の集積空間放射線線量とは3ヶ月間の空間における放射線の量を1時間あたりで表した値。

【測定期間：3月28日～6月末日】

花木の森散策路における空間放射線線量率	参考値	測定結果
	測定中 周辺地域の空間放射線線量率と同等 ※5	測定中 3ヶ月の集積空間放射線線量率 ※6 から算出